



みなさんと日本盲導犬協会を結ぶ会報です

# 盲導犬くらぶ

公益財団法人 日本盲導犬協会  
発行人 井上 幸彦  
223-0056 横浜市港北区  
新吉田町6001-9  
TEL.045-590-1595  
FAX.045-590-1599  
<https://www.moudouken.net/>

盲導犬くらぶ  
111号



これからも1歩🐾1歩🐾1歩🐾  
みなさまと歩んでいきます

本誌は1990年創刊から111号を迎えました。今後も盲導犬や視覚障害について情報をお届けしてまいります。  
写真は「ウェイト（待て）」の指示に応える訓練犬。指示者のほうに顔を向け、その声に集中しています

# 新役員就任のお知らせ

中長期計画の開始から3年目を迎えました。コロナ禍も一段落して、イベントなど屋外での活動にも活気が戻ってきています。昨年度は36頭の盲導犬を送り出し、当初の計画

を達成することができました。本年度は5月に第1回理事会、6月に第1回評議員会を開催し、事業報告を行ったほか、新たな役員が就任しました。以下にお知らせいたします。

- 新役員
- 理事 金高雅仁
- 評議員 三成 浩巳 (敬称略)



引き続き役員一同力を合わせて事業に邁進いたします。

## 日本盲導犬協会の歩み 2023.4.1 ~ 6.30

- 4月13日 ..... 第1回常任理事会
- 5月16日 ..... 第2回常任理事会
- 5月24日 ..... 第1回理事会、評議員選定委員会
- 6月13日 ..... 第3回常任理事会
- 6月21日 ..... 第1回評議員会



↑5月24日 京成電鉄の船橋競馬場駅で京成グループ社員60人を対象に「盲導犬ユーザー等対応講習会」開催。手引きの方法等をレクチャーしました

↓5月28日 神奈川訓練センターで視覚障害児親子の会「いちごの会」の子供たちが盲導犬との歩行やグルーミングを体験しました



↑6月16日 スマイルワン仙台「盲導犬新ユニット出発式」を開催。昨年度新たに誕生した8組の盲導犬ユニットと支援者ら37人が参加して、新たな出発を共に祝いました



↑6月10日 J.P. モルガンの社員と関係者が富士ハーネスでボランティア活動に参加。講習会にも参加して視覚障害への理解を深めました

### ●各センター活動報告(4月~6月)

(2023年6月30日現在)

	神奈川訓練センター	仙台訓練センター	富士ハーネス	島根あさひ訓練センター
訓練・視覚障害サポート	共同訓練	4回	3回	0回
	パピーレクチャー	28回	10回	5回
	パピーウォーキング修了式	2回	2回	1回
	ユーザーフォローアップ	44回	41回	29回
	盲導犬説明会/盲導犬体験歩行会	12回	5回	5回
リハビリテーション	各種オンラインセミナー 3回			
	短期リハビリテーション	0回	1回	0回
普及推進活動	その他リハビリテーション	150回(180人)	211回(144人)	111回(106人)
	受け入れセミナー	11回	12回	24回
その他(雑誌など)	小・中学生向け実演	2回	2回	9回
	一般向け実演・贈呈式・募金活動等	37回	25回	48回

メディア掲載件数	
テレビ・ラジオ	21回
新聞	36回
WEB	151回
その他(雑誌など)	14回

主な放送・掲載	4月20日・23日	東京新聞1紙、WEB1件	協会配信リリース「盲導犬ユーザー受け入れ拒否の悪態報告」より内容を掲載
	4月26日	テレビ朝日「グッド! モーニング」	林修のことは検定スマートで国際盲導犬の日にならぬ盲導犬クイズ出題
	4月26日	福島民友新聞	国際盲導犬の日特集。佐藤さん&ディアの体験談と根本センター長のコメント掲載
	5月1日	千葉テレビ、読売新聞	そごう千葉店で「盲導犬もって知って」キャンペーンでの従業員セミナーや募金活動の様子を紹介
	5月2日	CHANTO WEB、YAHOO! ニュース	協会パピーウォーカー高梨さんの経験談など3シリーズ掲載
	5月7日・14日・21日・28日	KSB瀬戸内海放送	「with盲導犬」盲導犬新ユニット出発式を放送
	5月10日	フジテレビ「Live News イット!	「盲導犬特集」で富士ハーネスを紹介
	5月17日	福祉新聞、WEB69件	国際盲導犬連盟ケン・ロード賞をアジア初受賞した多和田訓練士に關しリリース記事掲載
5月22日	毎日新聞、WEB46件	「ほよ犬の日」に協会YouTubeの盲導犬新ユニット出発式の動画に關しリリース記事掲載	

\*協会ホームページにも毎月の放送・掲載情報を公開しています。順次更新しますのでご覧ください。

# TOPICS!

主なできごとの中からピックアップ

## 新たな盲導犬訓練士・歩行指導員が誕生「今がスタート、高みを目指します」

今年3月、全国盲導犬施設連合会の認定を受け、新たに盲導犬訓練士(以下、訓練士)3人、盲導犬歩行指導員(以下、歩行指導員)1人が誕生しました。

訓練士は、神奈川訓練センターで2年間学んだ後、準訓練士として1年間経験を積み、試験を経て認定されます。その後、見えない、見えにくい人に盲導犬との歩行の仕方を教える歩行指導員になるには、一定数の共同訓練で指導を行い、

認定を受けなければなりません。ここまで最短でも5年ほどかかる厳しい道のりです。

今回認定を受けた4人は、共に学び、励まし合いながら歩んできました。現在、それぞれの場所でプロフェッショナルとして盲導犬事業の一端を担っています。それぞれの意気込みを語ってもらいました。



青木麻紗実訓練士/神奈川訓練センター勤務/神奈川県出身

人と同じく犬にも得意、不得意があります。得意なことをさらに伸ばせるような訓練士になりたいです。ユーザーの方とお会いすると、パワフルさや人柄に勇気付けられてばかりなので、指導員を目指す中で恩返しできたらと思います



曾根優訓練士/富士ハーネス勤務/神奈川県出身

「訓練士の次は歩行指導員だ!」今の正直な気持ちです。訓練士の責務を全うし、歩行指導員という目標に向かって突き進みます!早く立派な一人前になり、育ててくださった上司の方々においしいご飯をご馳走したいです!



西田しおり訓練士/神奈川訓練センター勤務/島根県出身

国際部に配属となり、5月からアメリカのフリーダムガイドドッグズという盲導犬訓練施設で3か月間の研修に参加しています。今後は歩行指導員を目指しつつ、国際的な連携へ向け、更に貢献できるような努力していきます



瀧口かな歩行指導員/仙台訓練センター勤務/東京都出身

生活スタイルや性格、実現したい歩行が異なる一人ひとりに対応するのが面白くてあり、難しさでもあると感じます。資格取得はあくまでスタートだと痛感、その人らしい歩行や外出を実現するサポートができるよう努力していきます

## アジア初! 多和田理事がケン・ロード賞受賞 国際盲導犬連盟が49年間の功績を称えて

盲導犬訓練士でもある多和田悟常任理事が、4月27~29日カナダのバンクーバーで行われた国際盲導犬連盟(以下、IGDF)のカンファレンス(学術大会)において、世界の盲導犬育成事業における功績を顕彰する「ケン・ロード賞」を受賞しました。この賞は、国際的な盲導犬事業に長年貢献した人に与えられますが、多和田理事は49年にわたる功績が認められ、アジア初の受賞者となりました。

国内においても、書籍『盲導犬クイールの一生』で主人公として描かれるなど、盲導犬の周知や理解促進に大きな影響を与えている多和田理事。1974年から日本盲導犬協会では盲導犬訓練に携わり、2004年に開校した協会付設の盲導犬訓練士学校で教務長を務め、2012年に協会理事に就任。

IGDFには1986年の創設準備から関わり、1994年に加盟団体の審査を行うアセッサー(査察員)に任命され、これまでに海外の17団体を訪れました。また、IGDF教育委員会のメンバーとして、国際的な訓練士育成システムの立ち上げにも貢献しています。

多和田理事は「これからも世界と協調しながら日本ならではの歩みを進めていきたい」と情熱を燃やし続けます。

IGDFカンファレンスについては4ページの関連記事をご覧ください。

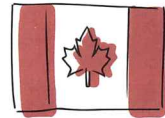


授賞式でウィリアム・ソントンIGDF理事長(右から2番目)らと喜びを分かち合う多和田常任理事(中央)。表彰盾を手に、名前の悟(Waku)からサム(サム)の愛称で各国関係者に親しまれています

※ケン・ロード賞:IGDF共同設立者の一人であり、40年以上にわたって盲導犬事業に貢献し、南アフリカ盲導犬協会のCEOを務めたケン・ロード氏の名を冠した賞。2002年創設以来、11人が受賞

# 2023 IGDFカンファレンス カナダで開催

## 研究発表で国際協力に弾み



↑会場のフェアモントホテルバンクーバーにて、充実した表情で集う協会職員たち。上段右から3番目はIGDFのアセッサーを務める多和田悟常任理事、上段左から2番目はIGDFの会計として会計報告を行った田上静之常任理事

2023年4月27日～30日まで、カナダのバンクーバーにてIGDFカンファレンスが開催されました。盲導犬育成に関する研究発表を通じ、国や団体を超えて直接に情報交換ができる貴重な場です。今年IGDFに加盟する30の国と地域、84の盲導犬育成団体のスタッフ275人が参加しました。これまで2年おきだった開催がコロナ禍で5年ぶりとなり、参加者は心待ちにしていた再会を喜び合いました。期間中、訓練技術やパピーに関することなど全24題の研究発表が行われた中、協会からは3題を発表しました。

IGDF (=International Guide Dog Federation、国際盲導犬連盟)とは、目の見えない人、見えにくい人々の独立した歩行手段として、盲導犬の提供を推進する加盟団体の取り組みを支援することを目的に、1989年に設立された団体です。

### 「母犬の自由給餌による健康懸念の改善」

発表者：訓練部 本岡 明音

出産、育児時期の母犬の健康管理は、パピーの健全な成長のためにも重要な課題です。母犬の体調不良や体重減少の改善へ向け、富士ハーネスで取り組んだ新たな給餌方法について発表。同様の取り組みをする育成団体もあり、貴重な意見交換の場となりました。



### 「ダイバーシティ社会とSDGs」

発表者：国際部 井上 裕子

IGDFのカンファレンスや会議では英語が使用されますが、加盟団体の6割が非英語圏。言葉の壁を解消し、参加しやすくするため、翻訳などの準備作業にかかる負荷へ配慮した運営をIGDFに提案しました。



### 「盲導犬ユーザーが感じている社会的障壁」

発表者：広報・コミュニケーション部 安保 美佳  
専務理事 山口 義之

盲導犬ユーザー、受け入れ側である事業者、市民、各所へのアンケート結果を基に、根深く残る視覚障害者への誤解や盲導犬の受け入れ拒否について報告しました。発表を受け、イギリスの育成団体から、受け入れ拒否にあった際にスマートフォンのアプリケーションを活用して行政や育成団体に迅速に報告する画期的なシステムが紹介され、大きな刺激となりました。



今回のカンファレンスに向け、協会職員たちは4か月間、入念な準備を行いました。英語でのプレゼン準備も含まれます。非英語圏からの発表は当協会による3題のみ。母国語以外での発表の難しさが垣間見えます。一方で、言葉の壁を越えて発表したことにより、同じ志を持つ仲間と出会い、課題について共に考え、素晴らしいアイデアに触れるなど大きな成果に結びつきました。今後もこのように国を超えて連携しながら、視覚障害者福祉の向上へとつなげていきます。

協会職員の発表に関する記事は協会ホームページでご覧になれます。➔



## 盲導犬育成を支える ボランティア LIFE

### 1歳までしっかり育てて 「パピーを未来へ送り出します」

（仙台訓練センターパピーウォーカー・菅野さん一家・（仙台市））



↑生後2か月から1歳頃までのパピー期を飼育するボランティア、菅野さん一家と、生後5か月のイズモ。左から友絵さん、夫の棟之さん、長女の一彩さん。この時期に築かれたパピーと人の信頼関係はその後の大切な基礎となります

**仙** 台に暮らす菅野さん一家は協会のパピーウォーカー（以下、PW）として活躍しています。1頭目ライズを無事に育て上げ、現在は2頭目のイズモと生活しています。

**PW** になるきっかけは友絵さんの小学生時代にありました。点字に興味を持って取り組んだ夏休みの自由研究で盲導犬やPWのことを知り、ずっと心に残っていたそうです。時が経ち、2020年。家族で犬を飼う話になり、温めてきた思いが開花します。大型犬を望む棟之さんに「子犬から育てるPWなら訓練士さんが一から教えてくれるから安心よ」と友絵さん。翌年に1頭目ライズを迎えました。

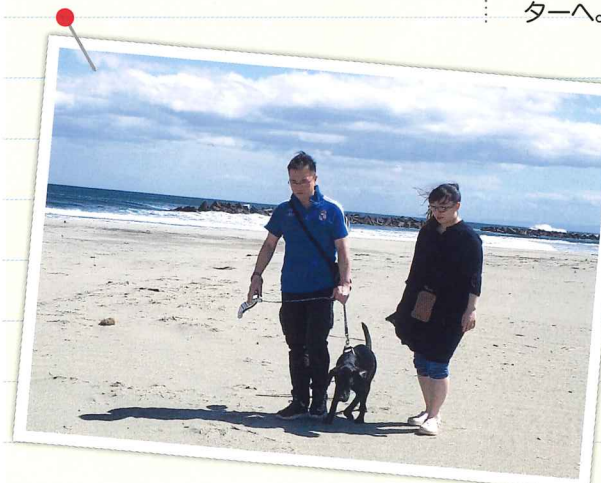
**心** 配したりホッとしたり。子育てと同じです」というPW生活。当初は寝ている間もライズが心配でたまらなかった友絵さんは、訓練士から提案されたケージ横での添い寝を試し、次第に安心感を得たと言います。今年迎えた2頭目のイズモ。朝が早い棟之さんがイズモを散歩へ連

れていき、帰宅後に朝ごはんをあげています。朝ごはんは、訓練士に教わった成長期ごとのドッグフードの配合や分量を目安に友絵さんが用意。上手に役割分担しています。

**こ** うしたアドバイスは主にパピーレクチャーという研修時に受けられます。月1回の週末、友絵さんと一彩さんがイズモを連れて訓練センターへ。排泄のさせ方、遊び方など、

られるそうです。「いろいろな犬と生活することはPW活動にも生きる部分が多い」と訓練士は語ります。「2、3頭を飼育して多様な個性や成長過程に触れたPWには、1頭ずつ異なる性格や行動にも落ち着いて対応する余裕が生まれるのではないのでしょうか」。その言葉どおり、イズモは存分に遊んでしっかり休んで落ち着いた日々を過ごしています。

**訓** 練士からのアドバイスに沿って、散歩はパピー主導ではなく人がリードして歩くよう心がけているという友絵さん。「人に付いて歩くのは楽しいとパピーが思えるように」と、将来の盲導犬生活を想定しながら日頃のイズモとのコミュニケーションを大事にしています。1歳頃にはPWのもとを巣立つパピー。訓練期を経てそれぞれの道を歩んでいきます。「育てて未来へ送り出す。子育てと同じですね。その子らしく幸せに生きてほしいです」



↑天気が良い日は海へ向かうことも。30分ほどのドライブ中も上手に伏せて過ごすイズモは「砂浜を歩いたり、海風を感じたり。自然を満喫します」

# スタートライン Start Line

みなさんのご支援に支えられて新しいパートナーと出会った共同訓練卒業生たち。喜びに満ち、まさにスタートラインに立ったところ

2023年5月までの共同訓練卒業生

### ●各ユーザーの紹介項目

ユーザー名・所在地(盲導犬歴)  
盲導犬名(雄♂/雌♀) 犬種

- ①共同訓練期間
- ②パピーウォーカー名

### ●犬種記号

LR: ラブラドル・レトリバー  
GR: ゴールデン・レトリバー

## 富士ハーネス

# 道に迷ってもホタルと一緒に怖くない 常滑市唯一の盲導犬! 地域に見守られて

桑山さんは常滑市で唯一の盲導犬ユーザーで、今年3月にホタルと歩き始めたばかりです。初めて盲導犬と出会ったのは10年ほど前、白杖訓練のために通っていた施設で体験歩行をした時です。元々犬好きで盲導犬に興味はあったのですが、家の中で犬を飼うことや世話の心配もあって盲導犬との生活に踏み出せずにいました。

2019年の冬、協会が名古屋市内で開催した「体験歩行会」で、再び盲導犬と歩きました。すると「犬と一緒に早く歩いてやっぱいいな」と気持ちに変化が起こります。「家事を引き受けてくれている息子にも家庭があり、いつまでも頼ることはできない。今後のことも考えたら、後悔したくない」と

盲導犬と歩く決心をしました。

「ちゃんとできるかな、ホタルは認めてくれるかな...」。パートナーになるホタルと歩く練習ができるのは、共同訓練4週間。最初は怖くてすり足で歩いていた桑山さんは、スタスタと軽快に歩くホタルのペースに「ついていけるのかな...」。それでも、ゆっくり慎重に階段を下りる桑山さんに合わせるように、ホタルは一段下りて止まると、また一段と寄り添います。気づいてペースを合わせてくれているのか、桑山さんの顔を見上げながら歩くホタルに、信頼が芽生えていきました。始まるまでは不安が大きかった共同訓練でしたが、「スタスタ歩けることが楽しくて仕方なかった」と桑山さんは振り返ります。

自宅付近の訓練では、田畑が広がる曲がりくねった細道をホタルとひたす

桑山 治代さん  
愛知県常滑市(1頭目)  
ホタル(♀)LR  
①2023.2.6~3.10  
②中村 竹士さん



↑草木が生い茂る散歩道で、ホタルはにおい嗅ぎをすることも。そんなときは「ゴー!」と指示を出し「まっすぐ歩くんだよ」と伝え、ホタルは歩きに集中します。「しっかりしたコミュニケーションを意識して歩きます」

ら歩きました。「盲導犬ってすごいな、スタスタと歩けることが楽しい!」かつては思いもしなかったことです。

そんな二人の楽しみの一つは毎日の散歩です。ある日の散歩中、道に迷っ

↑この花なにか? 椿かな? 季節ごとの花の匂いやウグイスの声を楽しみながら歩く桑山さん。隣を歩くホタルは桑山さんの丁寧な手入れのおかげでいつもピカピカツツヤです

てしまいました。一人の時は電話で迎えに来てもらうこともありましたが、この時はホタルと二人で「迷っちゃったね」と会話をしながら、なんとか知っている道に出ました。道沿いを歩き、ホタルが角を教えてくれたので、桑山さんは思い切って「レフトゴー!」と指示。ホタルも自信をもってスタスタ行きます。自宅に向かってしていると信じて二人で歩き続け、気付けば1時間半、ついに家に辿り着いたのです。「盲導犬がいれば、こんなに歩けるんだ。迷ってももう大丈夫!」と桑山さんの感激はひとしおでした。

もうひとつ、うれしい変化が。白杖で歩いていた頃は、人の気配を感じると自分から挨拶していた桑山さんですが、ホタルが来てからは、周りから声を掛けられることが増えたと言います。通りがかりの車がわざわざ止まって「毛並みがきれいですね」とホタルを褒めてくれたことも。「ホタルが褒められると私もうれしい! みんなが見てくれていることがわかって心強い」など思いがけない発見がありました。

今後は伊勢神宮への旅行に挑戦したいと語ります。毎年家族と一緒に行くのですが、「ホタルと二人、近鉄電車に乗って行きたいときに行ってみよう!」と心を踊らせます。もし道に迷ってもホタルと二人ならきっと大丈夫です。



↑最初は階段を使おうとしていたホタル。桑山さんが普段使う右側のスロープを教えたら、今では「こっちだよ」と誘導してくれます



前嶋 信一郎さん 静岡県掛川市(2頭目)  
ユニゾン(♂)LR  
①2023.5.8~5.23 ②栗原 延貴さん

ユニゾンとはじめて歩いた時、慣れ親しんだ1頭目の歩行とは違う、2歳の若々しさと力強さを感じました。家では子供たちの遊びの中に入って楽しく過ごしており、すっかり家族の一員です。よく利用するスーパーでは、店員さんが声を掛けてくれるなど盲導犬ユーザーへの理解が広まってきており、うれしく思います。今後は大好きなアーティストのコンサートへ行くなど、ユニゾンと一緒に「推し活」を楽しみたいです。

## 仙台訓練センター

1頭目ラズベリーの引退後、2頭目デュオとの共同訓練が始まるまでは、体力維持のためと思って白杖では出かける気分にはなれず、行動面も気持ちも塞ぎ込んでいました。デュオが来てからは一転、毎日デュオとおしゃべりをしながら出かけられて楽しいです! デュオは初めてのバスや美容院でも「心配いらないよ」と言うかのような完璧な仕事ぶり、緊張していたのは私だけでした。ラズベリーへの想いと一緒に、デュオとの経験を重ねていきたいです。

鷹谷 日奈子さん  
秋田県由利本荘市(3頭目)  
ユル(♂)GR  
①2023.4.12~4.24  
②遠藤 朋子さん



石川 順子さん  
宮城県東松島市(2頭目)  
デュオ(♂)LR  
①2023.5.15~5.26

ユルは周囲も認める甘えん坊ぶり、自宅でも外出先でも、顔を触るとくっついてきます。スイッチが入ると部屋中をかけまわって大暴走するやんちゃな姿もあれば、男の人や聞きなれない音が少し苦手、怖い! と私の後ろに隠れる繊細な一面も。歯磨きが大好きで何度も催促したり、ご飯を残した時には「食べちゃうぞ」の一声に慌てて完食したり、とにかく賑やか。今は排泄のタイミングが不安定で、毎朝奮闘中! ドタバタを楽しみます。

### 島根あさひ訓練センター



**加藤 今日子さん**  
島根県松江市  
(3頭目)  
**マノン** (♀) LR  
① 2023.3.7 ~ 3.17

マノンと過ごして3か月、共同訓練では見せなかった部分が少しずつ出てきました。基本的に省エネタイプで、声をかけても尻尾で返事をするだけで済ませます。けれど、ごはんの後は必ず私のところに

に来て股くぐりをしてからベッドに戻るかわいい一面も。私は見えにくい状態ですが、スマホのカメラを通すと、マノンの表情が見えるので、ときどき見て楽しんでいます。もっと仲良くなって、お母さん大好き~! ってなってもらいたいです。

### 神奈川訓練センター



**斉藤 雅子さん**  
埼玉県入間市  
(2頭目)  
**ヴァリー** (♀) LR  
① 2023.3.20 ~ 4.1  
② 小野口 享さん

一緒に傾聴ボランティアに出かけたり、散歩を楽しんだりして、あっという間に2か月が過ぎました。ヴァリーはきびきびと歩き、角や段差、障害物などをしっかり教えてくれます。また、出かけた先での待機も得意で、これからもいろいろな活動ができると希望が膨らみます。いつも元気をくれるヴァリーと一緒に、視覚障害や盲導犬の理解を広げる活動もがんばりたいです。今年の夏には、初めてヴァリーと一緒に旅行の計画を立てています。

テスは、性格は子犬みたいでめちゃくちゃかわいい! でも体は大きい。令和生まれの現代っ子で、ちょいとばかり繊細さん。一緒に歩き始めて1週間ちょっとですが、一生懸命お仕事してくれま。早速地元の小学校での講演もしてきました。2頭目は、1頭目との違いに大変なことも多いと覚悟していましたが、今のところはどうにかこうにか。テスも私も、お互いまだまだ慣れてない部分はあるけれども、きっと楽しくなっていくことでしょう!

**板倉 憲次郎さん**  
神奈川県中郡(2頭目)  
**テス** (♀) LR  
① 2023.5.15 ~ 5.26  
② 吉田 悠貴恵さん



**石井 孝司さん**  
神奈川県横浜市  
(2頭目)  
**アーロン** (♂) LR  
① 2023.5.15 ~ 5.26  
② 早田 匡希さん

「アーロン、おはよう!」の挨拶で毎日が始まります。共同訓練で苦労した歩行のリズムも合ってきました。通勤や外出の時、曲がり角や段差などでみせる、アーロンのお仕事の基本への忠実さは、先代パートナーとの生活が始まった時に感じた初心を思い出させてくれます。アーロンのハッピーリタイアまで、この基本を守って二人六脚で毎日楽しく生活したいです。一緒に旅行に行ったり、沢山の思い出を作りたいです。アーロン、どうぞよろしく!

心がふれあう

# Heart to Heart

## 募金総額が1億円を突破 20年にわたり支援の輪を紡いだいなげやグループ

視覚障害や盲導犬について理解を深め  
盲導犬ユーザーが生き生きと  
安心して暮らせる社会を目指して  
心のバリアフリーを広げる活動を紹介します



「継続してきた募金活動が1億円達成の節目を迎え、大変喜ばしく思います。たくさんのお客様と従業員の温かいご支援の賜物と感謝しております。今後も盲導犬ユーザーが暮らしやすい街になるよう、地域のお役立ち業として健全な社会の実現に貢献してまいります」と本杉社長(右)

### ● 盲導犬育成現場を見て 支援への思いが深まる

「すこやけく(健やか+希く)」——お客様の健康で豊かな暖かい日常生活と、より健全な社会の実現に貢献する——そんな経営理念の元、1900年の創業以来、お客様も働く人たちも笑顔の絶えない店づくりを続けてきた「いなげやグループ」。心温まる接客が人気を呼び、スーパーマーケットの「いなげや」は133店舗、ドラッグストアの「ウェルパーク」は143店舗と成長を続けています。

グループ各店舗に盲導犬募金箱を設置し、お客様の温かい心に支えられ、少しずつ支援の輪を広げてきた同グループでは、2003年に支援をスタートしてから20年目となる2023年4月、日本盲導犬協会への募金総額が1億円を超えました。

募金箱設置から10年の節目となる2013年、当時の担当者らで協会の神奈川訓練センターを訪れました。そ

こで初めて盲導犬育成の現場を見たことで、一気に支援への気運が高まり「募金だけでなく、もっと私たちにできることはないか?」と、グループを挙げて考えるようになりました。

### ● お客様の笑顔のため 「できることは全てやる」

2013年12月、店舗で盲導犬の理解促進イベントを初めて開催し、お客様へ理解を広く呼びかけました。

さらに2018年からは、新入社員研修に協会による講習会を導入して、盲導犬の基本情報や視覚障害のある人への接客の仕方などを学ぶことに。

「支援を必要としている方にいかに寄り添うかが大切だと感じています。一人でも多くのお客様に笑顔になってお買い物をしていただくために、私たちにできることは全て行っていこうと思っています」と、サステナビリティ推進室の加藤若菜さん

は思いを語ります。  
募金箱のモチーフとなっているラブラドル・レトリバーに手作りの服を着せたり、リボンを飾って目立たせるなど、募金箱に愛情を注いでいるのも同社ならではのいなげやグループの社員やスタッフたちのこうした温かい気持ちがお客様に伝わったことも、1億円という大きな募金額につながった要因かもしれません。

### ● 盲導犬がいる風景を 当たり前にしたい

いなげやグループでは、「お客様にも盲導犬を身近に感じ自然に受け入れてもらいたい」と、盲導犬ユーザーが買い物をする様子を見てもらえるよう、新たなイベントを計画中です。「ユーザーへの対応は、初めのうちはスタッフも不慣れなことがあるかもしれませんが、お客様にご満足いただけるよう、努力を続けます」

創業当時から受け継がれる「すこやけく」の精神から生まれた支援の輪は、お客様とスタッフの温かい心に支えられ、広がり続けています。



↑サステナビリティ推進室のみなさん。「お客様の優しい心が1億円の募金に。今後も理解促進活動を続けます」と加藤若菜さん(中央)

# 2022年度 事業報告・決算報告

## 盲導犬育成事業

### 1 視覚障害者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

・36頭の盲導犬を育成し、36ユニットの視覚障害者に対する歩行指導及び盲導犬の貸与を実施。内訳は神奈川訓練センター16頭16ユニット、仙台訓練センター11頭11ユニット、日本盲導犬総合センター6頭6ユニット、島根あさひ訓練センター3頭3ユニット。代替が27ユニット、新規が9ユニット

### 2 犬の飼育及び訓練

・候補犬157頭を訓練し、入所は89頭  
・新たに雄2頭及び雌4頭を繁殖犬として登録。3月末現在で雄22頭、雌26頭の繁殖犬を保有。凍結精液は本年度協会内で作製した203本を含め6,512本を保有

### 3 子犬101頭を確保

・101頭をパピーウォーカーに委託、飼育環境の整備を継続

・訓練センターでのパピーレクチャーは180日、250回実施。約3～5日の「定期預かり訓練」を実施

・島根あさひ盲導犬パピープロジェクトは4頭実施

・33頭33ユニットの盲導犬が引退あるいはユニット解消

・犬舎及び医療管理では獣医師と連携し、早期治療に努めた。職員が医療セミナーに参加

### 3 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ(FU)

・定期FUは245回実施。問題解決、健康相談などの非定期FUは215回実施。出発式を4拠点で開催

### 4 盲導犬訓練・育成技術の向上

・訓練技術向上と訓練士育成を目指し、訓練士資格制度の改定を検討

### 5 各種研修会等への参加

・全国盲導犬施設連合会主催の研修会等、各種研修会に積極的に参加

### 6 施設整備

・神奈川訓練センター犬舎改築の設計案を作製。2023年着工予定

## 盲導犬歩行指導員等育成事業

### 1 盲導犬歩行指導員・盲導犬訓練士の認定

・全国盲導犬施設連合会認定資格の盲導犬歩行指導員に1人、盲導犬訓練士に3人が認定

## 調査研究事業

### 1 凍結精液の作製・繁殖研究

・盲導犬の合格率向上、健康改善のため東京大学の研究に継続して協力

・東京大学・盲導犬歩行学研究室の遺伝子解析研究にゲノム精製のための血液を提供

## 視覚障害支援事業

### 1 盲導犬歩行についての理解促進

・盲導犬体験歩行会は35回、ステップアップ体験会は33回、盲導犬説明会は19回、オンラインセミナーは9回開催

### 2 ユーザーコミュニケーション

・FUとして定期聞き取り調査を実施。盲導犬6歳時コミュニケーション会を6回開催

### 3 視覚障害者在宅生活訓練(白杖歩行訓練等)

・延べ837名に1,375コマの訓練を実施

### 4 リハビリテーション相談

・延べ388名に対し418回の相談対応

### 5 短期リハビリテーション訓練

・5回実施、15人参加。視覚障害リハビリテーション体験会を3回実施、14人参加

### 6 視覚障害児キャンプ

・スマイルワン仙台で実施、6家族が参加

### 7 各種研修会への参加

・視覚障害リハビリテーション協会研究大会で職員が発表

### 8 講師派遣、各種講習会の開催

・盲学校での歩行訓練指導、声かけサポーター養成講座、同行援護従事者養成研修修了者に対する研修へ職員を講師として派遣  
・支援者を対象としたロービジョン体験や支援方法に関する講習会を実施

### 9 視覚障害者向けに「パートナーズ」と「盲導犬ユーザー通信」を各4回発行

## 広報・普及推進事業

### 1 事業者向け理解促進活動

・視覚障害者サポート・盲導犬受け入れセミナーを146回、首長訪問を8回実施

・盲導犬ユーザーから受け入れ拒否の相談を受け60件に対応

### 2 教育機関向け理解促進活動

・盲導犬小中学校キャラバン287回実施  
・教科書出版社への情報提供を目的にプレゼンテーションを8回実施

### 3 一般市民向け理解促進活動

・商業施設活動24回実施  
・盲導犬や補助犬法理解のための実演・講演214回、企業・団体への感謝状等贈呈式89回、街頭での理解促進活動86回実施

### 4 広報活動

・メディアリリースを23回配信。メディア掲載回数は962回  
・会報誌『盲導犬くらぶ』を年4回、計179,739部発行、音声CD1,298部を発行  
・SNS、ブログ運営。ホームページ訪問者数589,549人

## 関係団体協力事業

・日本盲導犬協会ユーザーの会、ボランティア委員会との協力

## 2022年度決算

(単位:円)

科目	2022年度	前年度
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産等運用益	15,638,165	8,687,924
受取会費	266,150,609	267,136,776
事業収益	34,250,796	32,100,230
受取補助金等	17,708,087	11,744,276
受取寄付金	580,241,705	683,193,021
雑収益	344,053	289,116
指定正味財産からの振替額	309,445,274	25,354,958
経常収益計	1,223,778,689	1,028,506,301
(2) 経常費用		
盲導犬育成事業費	484,189,754	447,929,571
盲導犬歩行指導員等育成事業費	4,517,777	6,664,200
調査研究事業費	23,123,730	23,220,800
視覚障害者支援事業費	74,788,590	62,266,966
広報・普及推進事業費	176,899,746	185,455,688
国際事業費	2,326,565	1,330,289
訓練センター管理費	158,517,825	141,480,060
事業共通費(減価償却費等)	66,661,905	58,118,078
公益目的事業費計	991,025,892	926,465,652
法人管理費	232,491,974	101,900,247
経常費用計	1,223,517,866	1,028,365,899
当期経常増減額	260,823	140,402
2 経常外増減の部		
当期経常外増減額	△9,431,874	31,490,925
当期一般正味財産増減額	△9,171,051	31,631,327
一般正味財産期首残高	3,116,591,523	3,084,960,196
一般正味財産期末残高	3,107,420,472	3,116,591,523
II 指定正味財産増減の部		
基本財産等運用益	194,261	190,085
受取寄付金	1,028,299,874	1,091,901,660
特定資産評価損益	3,688,800	2,231,515
一般正味財産への振替額	△309,445,274	△25,354,958
当期指定正味財産増減額	722,737,661	1,068,968,302
指定正味財産期首残高	5,696,155,056	4,627,186,754
指定正味財産期末残高	6,418,892,717	5,696,155,056
III 正味財産期末残高	9,526,313,189	8,812,746,579

・全国盲導犬施設連合会、全日本盲導犬使用者の会、アジア・ガイドドッグ・フリーディング・ネットワークなどへの協力  
・日本盲人福祉委員会、日本介助犬協会、視覚障害リハビリテーション協会等への協力

## 国際事業

### 1 海外補助犬使用者期間限定証明書の発行

### 2 国際的な協力関係

・国際盲導犬連盟(IGDF)の理事およびアセッサーを務めた

## その他

### 1 中長期計画の推進

・訓練士学校の学生を有期契約職員として採用、広範なOJTによる訓練士養成に着手

### 2 井上ビジョンの展開

・コミュニティセンター構想に関し、候補地の選定を継続して実施

### 3 人材育成

・職員研究発表大会を開催。同行援護従事者研修に職員2人を派遣し、資格取得。獣医療研修に獣医療関係職員2人が参加。愛玩動物看護師国家資格に3人合格

### 4 東日本大震災支援

・協会ICTインフラの整備、デジタル化事業等

・業務システムに関し、再構築及びホームページとの連携の改善を実施

# 生まれました

オス3頭  
メス4頭  
父犬アンバー(LR)×  
母犬サラ(LR)



2023.3.26 誕生

オス3頭  
メス4頭  
父犬キューイ(LR)×  
母犬ヴィセ(LR)

2023.5.18 誕生



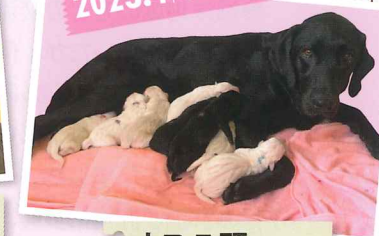
2023.5.22 誕生

オス4頭  
メス5頭  
父犬ルパー(LR)×  
母犬ベルナ(LR)



2023.4.16 誕生

オス3頭  
メス5頭  
父犬エリオット(LR)※・  
ベイリー(LR)×  
母犬ウェルシー(LR)



2023.4.3 誕生

オス7頭  
メス2頭  
父犬ウィングダム(LR)×  
母犬エスティ(LR)

# 委託しました

父犬ウィングダム(LR)×  
母犬エスティ(LR)

ミラン♀	海北 貴之さん
ムック♂	四宮 真奈美さん
ミツバ♂	駒走 美帆さん
マーレ♂	小松 勲さん
マヤ♀	吉本 大樹さん
マルス♂	豊田 良太さん
メブキ♂	高木 豊さん
マックス♂	佐野 勝英さん
マーフィー♂	朝倉 斉彦さん

父犬エリオット(LR)※・  
ベイリー(LR)×  
母犬ウェルシー(LR)

ニーム♀	山田 善裕さん
ニモ♀	小野寺 陽子さん
ヌート♂	櫻井 和広さん
ニック♂	菅原 綾子さん
ニクス♀	木俣 秀樹さん
ニコ♀	末武 卓さん
ノア♀	高尾 宏二さん
ニレ♂	松田 教子さん

父犬カーロ(LR)×  
母犬ウパ(LR)

ジャム♂	田口 秀樹さん
ジュナ♀	高梨 哲也さん
ジャッキー♂	青木 ゆみさん
ジュニファー♀	清水 由美子さん
ジジ♂	丸橋 剛さん

父犬トーマス(LR)×  
母犬グロリア(LR)

カルマ♂	長尾 浩史さん
ココロ♀	加藤 学さん
カティ♀	橘 通頼さん
カノア♀	田邊 文章さん
キタン♂	佐藤 洋美さん
カリス♀	中村 豊さん
クロノス♂	有田 洋右さん

父犬アンバー(LR)×  
母犬サラ(LR)

ルーク♂	川喜田 一広さん
ロニー♂	古澤 真由美さん
ロッタ♀	吉田 孝雄さん
リンダ♀	小林 弥さん
リリア♀	山崎 穂積さん
レア♀	工藤 温子さん

※フランスの盲導犬育成団体(Cesecah)からの凍結精液を使用した人工授精

# 引退しました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	引退日
グリーン♀	森 公子さん	調整中	2023.3.17
ジュディ♀	斉藤 雅子さん	名久井 孝さん	2023.3.20
ラズベリー♀	石川 順子さん	上田 かおりさん	2023.4.9
リオ♀	大石 清美さん	大石 博進さん	2023.4.9
タイム♂	鷹谷 日奈子さん	竹田 淑子さん	2023.4.12
ダンディ♂	前嶋 信一郎さん	栗田 直枝さん	2023.5.8
ジーン♀	碓谷 純子さん	川崎 豊さん	2023.5.11
フレア♀	板島 憲次郎さん	佐藤 健治さん	2023.5.14
ヘブン♂	石井 孝司さん	若松 乙五郎さん	2023.5.15
プラス♂	木村 千栄美さん	調整中	2023.5.30
ララ♀	安達 靖子さん	調整中	2023.6.1

# 亡くなりました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	死亡日
ナラ♀	滝 憲子さん	麻生 アカネさん	2023.3.13
エミー♀	矢野 裕子さん	吉川 和男さん	2023.4.9
オマリー♂	抱井 康夫さん	梅内 康博さん	2023.4.11
アスキー♂	小田 裕一郎さん	村上 修さん	2023.4.23
リッツ♀	-	齋藤 敏之さん	2023.4.24
フォリオ♂	高橋 信行さん	酒井 真由美さん	2023.5.6
ウォレス♂	西塚 敏也さん	福本 恵子さん	2023.5.11
アッシュ♀	永沢 淳さん	-	2023.5.18
ドーラ♀	森山 夏気さん	小山 隆弘さん	2023.5.31

# 盲導犬育成状況

合計頭数...725頭(2023年7月4日現在)

委託前パピー	16頭	繁殖犬	45頭
パピー	83頭	PR犬	15頭
訓練犬	86頭	引退犬	170頭
盲導犬	249頭	繁殖引退犬	61頭

みなさんと協会をつなぐ

## ハーネスひろば

みなさんから届いたメッセージや協会からのお知らせなどを紹介します



オンライン

**新** 店舗オープンに伴い、盲導犬募金箱を設置しました。お客様から名前を募集したところ、83件もの応募がありました。抽選会を行って「わんた」という名前に決定。企画を通じてお客様と楽しく交流できたことなど、一言お礼を伝えたくてメールを送りました。

今回は地域の方との交流を目的にした取り組みでしたが、何より自分たちが名前の決定を楽しみにし、仕事へのモチベーションにも多少なりとも変化がありました。また、お子様の参加が非常に多く、盲導犬の普及に少しでもお役に立てたかなと思います。このような活動を通じて、楽しく社会に貢献できるお店を目指してまいります。

青森県

ツルハドラッグ弘前岩木店より



↑「わんた」のおかげで地域のみなさまから愛されるお店になりました

## 編集室より

- 『盲導犬くらぶ』の感想やご意見をお待ちしております。
- あて先  
公益財団法人日本盲導犬協会 盲導犬くらぶ編集室  
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F  
FAX:03-5452-1267 e-mail: info@moudouken.net

## 飲食店・宿泊施設向け

### 「盲導犬ユーザー受け入れ接客セミナー」

申込受付中!

協会では、盲導犬ユーザーへの接客方法についてオンラインセミナーを実施しています。ユーザーの体験談やロールプレイングなどを交えて解説します。ぜひご参加ください。

飲食店向け 2023年8月30日(水)15~16時

宿泊施設向け 2023年9月7日(木)13~14時

詳細、お申し込みは、右記より協会ホームページでご確認ください。➡



## お知らせ

## 動画配信中

## 「盲導犬新ユニット出発式」

2021年度中に初めて盲導犬を持ったユーザーや、2頭目、3頭目の盲導犬を迎えたユーザーが、盲導犬と歩く喜びなどを語っています。みなさまのご支援がここにつながっています。右記より公式YouTubeチャンネルへどうぞ。➡



無理なく、続けられる

ナチュラループラス®

The Global Healthcare Company

私たちは盲導犬の育成支援・普及活動を通じ、皆さまの健やかな暮らしを応援しています。



株式会社 ナチュラループラス 〒106-6035 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー35F  
TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011 URL <http://www.naturally-plus.com>



Know today, Power tomorrow

株式会社インテージでは、アンケートモニターの皆さまの善意により、謝礼の一部を日本盲導犬協会に寄付させていただいております。

株式会社インテージ  
<http://www.intage.co.jp/>



キューモニター募集  
<https://www.cue-monitor.jp/>



お客様からご注文いただいた商品1袋につき1円を「いちえん あいぎん『一縁のeye基金』として積み立て、その一部を盲導犬育成支援に活用しています。



あなたから始まる次代への健康物語

わかさ生活

WAKASA